

問1 約1万年前に氷期が終わり、日本列島の周辺環境が変化した際の様子について説明した文として、適切なものを選択してください。（2019年 千葉県公立入試 類似）

- | | | | |
|--------------------------------------|--|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 気候が温暖になり、海面が上昇したことで日本列島は現在の姿に近づいた | 2. 気候が寒冷になり、海面が下降したことで日本列島はユーラシア大陸と陸続きになった | 3. 大規模な地殻変動が起こり、日本列島は大陸から切り離されて島国となった | 4. 気候が温暖になり、海面が下降したことで沿岸部に広大な平野が形成された |
|--------------------------------------|--|---------------------------------------|---------------------------------------|

問2 日本の古代文化における「土偶」と「はにわ」の違いについて、時代背景と目的の観点から説明したものとして正しいものはどれですか。（2026年 千葉県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 土偶は縄文時代に作られ、豊穣や魔除けを祈る呪術的な道具であったが、はにわは古墳時代に作られ、古墳を飾り立てるためのものであった。 | 2. 土偶は弥生時代に大陸から伝わった青銅器の一種であるが、はにわは飛鳥時代に仏教とともに伝わった石像の技術で作られた。 | 3. 土偶は権力者の死を悼むために古墳の内部に納められたが、はにわは狩猟の成功を願って森の入り口に置かれた。 | 4. 土偶は写実的な人物像として奈良時代に完成したが、はにわは縄文時代に土器の蓋として実用的に使われていた。 |
|---|--|--|--|

問3 約1万年以上続いた縄文時代の生活スタイルと、そこで使われた道具の関係について、正しい説明はどれですか。（2024年 熊本県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 磨製石器や弓矢、土器などが使われ、自然環境に合わせた定住生活が行われた | 2. 青銅器や鉄器が普及したことで、大規模な戦争や移動生活が繰り返された | 3. 大型の石造建築が造られ、それらを装飾するために精巧な土器が発達した | 4. 文字が発明されたことで、法律や契約に基づいた高度な都市生活が営まれた |
|--|--------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|

問4 青森県に位置する縄文時代最大級の集落跡についての記述です。この遺跡では、直径約1メートルもの栗の木の柱を用いた巨大な掘立柱建物跡や、当時の人々が居住した大型のたて穴住居跡が数多く発見されています。この遺跡の名称として正しいものを選びなさい。（2024年 福島県公立入試 類似）

- | | | | |
|-----------|-----------|---------|---------|
| 1. 三内丸山遺跡 | 2. 吉野ヶ里遺跡 | 3. 登呂遺跡 | 4. 岩宿遺跡 |
|-----------|-----------|---------|---------|

問5 石器時代の道具や生活の変化について述べた文として、縄文時代の特徴を正しく説明しているものはどれですか。（2018年 徳島県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 氷河期が終わり温暖な気候になる中で、石をみがいた磨製石器や土器が使われ始めた。 | 2. マンモスなどの大型の獣を追うため、移動生活に適した打製石器のみを使い続けた。 | 3. 青銅器や鉄器が大陸から伝わり、石器は次第に祭祀用の道具へと変化していった。 | 4. 本格的な水田稲作が広まったことで、石包丁を用いた穂首刈りが一般的になった。 |
|--|---|--|--|

問6 三内丸山遺跡の調査結果から推測される、縄文文化の生活や社会の様子について正しく説明しているものはどれですか。（2024年 福島県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 豊かな自然環境を背景に、狩猟・採集・漁労を行いながら大規模な定住生活を営んでいた。 | 2. 大規模な灌漑設備を用いた水田稲作が普及し、食料を蓄えるための高床倉庫が主流となった。 | 3. 大陸から青銅器や鉄器が伝わり、武器や祭具として使用されることで集落間の争いが激化した。 | 4. 前方後円墳などの巨大な墳墓が築かれ、広域を支配する強力な王権が誕生していた。 |
|--|---|--|---|

問7 北海道にはその土地の自然環境や地形に由来する地名が多く残されています。例えば、世界自然遺産にも登録されている「知床（しれとこ）」という地名は、ある先住民族の言葉で「大地の先」を意味する「シリエトク」という言葉に由来しています。この独自の言語や文化を持ち、北海道や千島列島などに古くから住んでいる民族の名称を答えなさい。（2024年 山形県公立入試 類似）

- | | | | |
|----------|---------|--------|------------|
| 1. アイヌ民族 | 2. 琉球民族 | 3. 渡来人 | 4. 蝦夷（えみし） |
|----------|---------|--------|------------|

問8 縄文時代の人々の生活や文化について、食料の確保方法とその際に用いられた道具の組み合わせとして最も適切なものを次の中から選んでください。（2019年 佐賀県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 狩りや採集で得た食料を煮炊きしたり保存したりするために、縄目などの文様がついた土器が用いられた。 | 2. 本格的な稲作が始まり、収穫した米を保存するための高床倉庫や、祭祀のための銅鐸が用いられた。 | 3. 大陸から伝わった青銅器や鉄器を使い、大規模な開墾を行うことで、余剰生産物を蓄えるようになった。 | 4. 牛馬を利用した耕作や二毛作が広まり、収穫した作物を都市の市場で売買する生活が一般的となった。 |
|---|--|--|---|

問1 縄文時代に見られる「土偶」と、後の古墳時代に見られる「埴輪」を比較した説明として、正しいものはどれですか。（2019年

山形公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 土偶は、豊かな収穫や安産などのまじないのために縄文時代に作られたが、埴輪は古墳の主の供養や魔除けとして古墳時代に作られた。 | 2. 土偶は、弥生時代に稲作が伝わった際に祭祀用として広まったが、埴輪は縄文時代に集落の守り神として置かれた。 | 3. 土偶は、古墳の内部に副葬品として納められたが、埴輪は住居跡から発見されることが多く、日常的な食器として使われた。 | 4. 土偶は、大陸から伝わった金属器の影響を受けて作られたが、埴輪は日本独自の土器文化から発展した石製品である。 |
|--|---|---|--|

問2 紀元前2000年ごろ、世界でインダス文明が栄えていた時期の日本列島における生活の様子を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2016年 愛知公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 表面に縄の模様がついた厚手の土器を用いて煮炊きを行い、地面を掘り下げて床を作った住居に住んでいた | 2. 薄手で硬い赤褐色の土器を用いて食料を保存し、大規模な水田での稲作を中心とした生活を送っていた | 3. 金属器が伝来して武器や祭祀の道具として使われ、有力な王を葬るための巨大な前方後円墳が築かれた | 4. 土器はまだ作られておらず、ナウマンゾウなどの大型の獲物を追いながら移動して生活していた |
|---|---|---|--|

問3 北海道やその周辺地域において、樹皮を加工した繊維で織られた「アットゥシ」と呼ばれる伝統的な衣服や、独自のアイヌ語といった文化を継承してきた、法律によって日本の先住民族と明記されている人々を何と呼びますか。（2026年 埼玉公立入試 類似）

- | | | | |
|----------|---------|--------|---------|
| 1. アイヌ民族 | 2. 琉球民族 | 3. 渡来人 | 4. 大和民族 |
|----------|---------|--------|---------|

問4 縄文時代の遺跡からは、女性をかたどったとされる土偶など、当時の精神文化を反映した遺物が多く発見されています。これらの遺物が作られた目的や背景として最も適切な説明を選びなさい。（2024年 熊本県公立入試 類似）

- | | | | |
|------------------------------------|---------------------------------------|-------------------------------------|---|
| 1. 稲作が普及し、収穫した米を保存するためのまじないとして作られた | 2. 大陸との交易において、有力者が自分の富や権力を誇示するために作られた | 3. 自然の恵みに感謝し、食べ物や豊かさや安産などを祈るために作られた | 4. 身分の高い人物が亡くなった際、その墓である古墳に副葬品として納めるために作られた |
|------------------------------------|---------------------------------------|-------------------------------------|---|

問5 青森県にある三内丸山遺跡をはじめ、日本各地の縄文時代の遺跡から見つかる「土偶」について、その製作背景や当時の生活の様子を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2023年 香川公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 縄文土器が作られ、狩猟や採集による定住生活が行われる中で、食物の豊作や多産を祈るために作られた。 | 2. 本格的な稲作が広まり、収穫した米を保存するための高床倉庫や金属器が普及する中で、魔除けとして作られた。 | 3. 王や豪族といった有力者が現れ、巨大な前方後円墳が築かれた際に、死者を弔うために作られた。 | 4. 大陸から伝わった仏教の教えが広まり、寺院の本尊として拝むために精巧に作られた。 |
|---|--|---|--|

問6 縄文時代の遺跡から出土する、表面に縄目の文様が施されたり、大きな眼鏡のような目を持つ「遮光器土偶」などの土製品について、その当時の使われ方として最も適切な説明を選びなさい。（2026年 千葉公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 食物の豊穰や安産、病気の回復などを願うための、呪術的な道具として使われた。 | 2. 亡くなった豪族の墓である古墳の周囲に並べ、死者の霊を慰めるために使われた。 | 3. 大陸から伝わった仏教の教えに基づき、寺院の内部を飾るための仏像として使われた。 | 4. 稲作が普及した社会において、収穫した米を保存するための頑丈な容器として使われた。 |
|--|--|--|---|

問7 ある中学生が地元の歴史博物館で調べた内容をまとめた報告書の中で、「市内で発掘された、表面に縄を転がしたような模様がある土器」について記述しています。一万数千年前から紀元前数世紀まで続き、このような土器を使って狩猟・採集・漁労を主とする生活が行われていた時代を何といいますか。（2016年 富山県公立入試 類似）

- | | | | |
|----------|---------|---------|---------|
| 1. 旧石器時代 | 2. 縄文時代 | 3. 弥生時代 | 4. 古墳時代 |
|----------|---------|---------|---------|

問8 縄文時代の始まりにおける自然環境の変化と、それに対応した食料資源の変化について述べた文として、正しいものはどれですか。（2019年 千葉県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 気候の温暖化によって広葉樹の森が広がり、ドングリなどの木の実やシカ、イノシシなどが豊富になった | 2. 気候の寒冷化にともなって針葉樹林が発達し、マンモスやナウマンゾウなどの大型動物が主な食料となった | 3. 海面の上昇によって沿岸部が失われたため、人々は内陸の山岳地帯に移動して大型動物の狩猟のみに専念した | 4. 乾燥した気候に変化したことで草原が広がり、それまで行われていた採集に代わって家畜の放牧が始まった |
|--|---|--|---|

問1 縄文時代から弥生時代にかけての住居の構造について、地面を掘りくぼめる方法が取られた主な理由として、当時の生活環境から考えられる説明として最も適切なものはどれか。（2017年 茨城県公立入試 類似）

- | | | | |
|-------------------------------------|---------------------------------|------------------------------------|--|
| 1. 床を地面より低くすることで、室内の温度を一定に保ちやすくするため | 2. 床を地面から高く離すことで、収穫した穀物の湿気を防ぐため | 3. 大規模な灌漑施設を作る際、土を掘り出す作業と同時に建築するため | 4. 仏教の影響を受け、寺院の建築様式にならって地面に直接柱を立てないようにするため |
|-------------------------------------|---------------------------------|------------------------------------|--|

問2 縄文時代の遺跡において、海岸や水辺に近い集落付近で見つかる、食べた後の貝殻や魚の骨、破損した土器などが堆積した場所を何といいますか。当時の人々の「ゴミ捨て場」としての性格を持ち、生活の痕跡（生活跡）を現代に伝えるものを選びなさい。（2024年 大分県公立入試 類似）

- | | | | |
|-------|-------|---------|---------|
| 1. 貝塚 | 2. 古墳 | 3. 環濠集落 | 4. 高床倉庫 |
|-------|-------|---------|---------|

問3 日本の北方に位置する地域に古くから居住する先住民族と、その文化に関する記述として最も適切なものを次の中から選びなさい。（2024年 山形公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 北海道や千島列島などを主な居住範囲とし、シリエトク（知床）などの地名の由来にもなっている独自の言語を持つ。 | 2. 沖縄などの南西諸島を中心に独自の王国を築き、中国や東南アジアとの中継貿易によって繁栄した。 | 3. 古代に朝鮮半島や中国大陆から移住し、日本列島に稲作や青銅器・鉄器などの進んだ技術を伝えた。 | 4. 平安時代以前に東北地方に住み、朝廷の支配拡大に対して抵抗を続けたことで「蝦夷（えみし）」と呼ばれた。 |
|--|--|--|---|

問4 日本の東北地方、現在の青森県に位置する縄文時代を代表する遺跡について、その名称と時代の組み合わせとして正しいものを選びなさい。（2023年 徳島公立入試 類似）

- | | | | |
|------------------|------------------|----------------|------------------|
| 1. 三内丸山遺跡 — 縄文時代 | 2. 吉野ヶ里遺跡 — 弥生時代 | 3. 登呂遺跡 — 弥生時代 | 4. 三内丸山遺跡 — 弥生時代 |
|------------------|------------------|----------------|------------------|

問5 縄文時代における人々の生活環境の変化と、道具の使用に関する説明として最も適切なものはどれですか。（2016年 富山県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 大陸から稲作が伝来したことで、収穫した穀物を大量に貯蔵するための薄くて赤褐色の土器が広く普及した。 | 2. 気候が温暖になり動植物の食料が豊富になったことで定住が進み、食料の加工や保存のために土器が作られた。 | 3. 氷河期の影響で大型の獣を追う移動生活が中心となり、獲物を仕留めるために磨製石器が初めて登場した。 | 4. 有力な首長が各地に出現し、集落を守るための環濠や、身分を象徴する豪華な副葬品としての土器が作られた。 |
|--|---|---|---|

問6 縄文時代の人々の暮らしと文化についてまとめた資料によると、当時の人々は磨製石器などの道具とともに、土器を作り始めました。縄文時代において、土器が果たした主な役割として適切なものはどれですか。（2018年 徳島公立入試 類似）

- | | | | |
|------------------------------|-------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| 1. 木の実などの食料を煮炊きしたり、保存したりするため | 2. 金属を溶かして、より強力な武器を作るため | 3. 大規模な稲作を行うための、種もみを長期間保管するため | 4. 大陸との交易において、貨幣の代わりとして使用するため |
|------------------------------|-------------------------|-------------------------------|-------------------------------|

問7 縄文時代の遺跡から数多く出土する、主に女性をかたどったとされる土製の像を何と呼びますか。自然の豊かな実りや、病気・けがの回復を願うまじないの儀式に使われたと考えられているものを選びなさい。（2023年 徳島公立入試 類似）

- | | | | |
|-------|-------|--------|-------|
| 1. 土偶 | 2. 埴輪 | 3. 石包丁 | 4. 銅鐸 |
|-------|-------|--------|-------|

問8 縄文時代の遺跡からは、女性をかたどったとされる土偶など、当時の精神文化を反映した遺物が多く発見されています。これらの遺物が作られた目的や背景として最も適切な説明を選びなさい。（2024年 熊本県公立入試 類似）

- | | | | |
|------------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|---|
| 1. 稲作が普及し、収穫した米を保存するためのまじないとして作られた | 2. 大陸との交易において、有力者が自分の富や権力を誇示するために作られた | 3. 自然の恵みに感謝し、食べ物豊かなことや安産などを祈るために作られた | 4. 身分の高い人物が亡くなった際、その墓である古墳に副葬品として納めるために作られた |
|------------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|---|

問9 北海道にはその土地の自然環境や地形に由来する地名が多く残されています。例えば、世界自然遺産にも登録されている「知床（しれとこ）」という地名は、ある先住民族の言葉で「大地の先」を意味する「シリエトク」という言葉に由来しています。この独自の言語や文化を持ち、北海道や千島列島などに古くから住んでいる民族の名称を答えなさい。（2024年 山形公立入試 類似）

- | | | | |
|----------|---------|--------|------------|
| 1. アイヌ民族 | 2. 琉球民族 | 3. 渡来人 | 4. 蝦夷（えみし） |
|----------|---------|--------|------------|

問1 日本の東北地方、現在の青森県に位置する縄文時代を代表する遺跡について、その名称と時代の組み合わせとして正しいものを選びなさい。（2023年 徳島公立入試 類似）

1. 三内丸山遺跡 — 縄文時代 2. 吉野ヶ里遺跡 — 弥生時代 3. 登呂遺跡 — 弥生時代 4. 三内丸山遺跡 — 弥生時代

問2 山形県の西ノ前遺跡から出土した、その美しい造形から「縄文の女神」として国宝に指定されている土製品についての説明として、最も適切なものはどれですか。（2019年 山形公立入試 類似）

1. 縄文時代に作られた土偶の一種であり、当時の人々の祈りや願いが込められている。 2. 弥生時代の遺跡から見つかった土偶であり、大陸から伝わった稲作の成功を祈るために使われた。 3. 古墳時代の古墳の頂上付近から発見された埴輪であり、葬られた有力者の権威を示している。 4. 飛鳥時代の寺院跡から出土した仏像の原型であり、鎮護国家の思想を反映している。

問3 縄文時代の遺跡から数多く出土する、主に女性をかたどったとされる土製の像を何と呼びますか。自然の豊かな実りや、病気・けがの回復を願うまじないの儀式に使われたと考えられているものを選びなさい。（2023年 徳島公立入試 類似）

1. 土偶 2. 埴輪 3. 石包丁 4. 銅鐸

問4 縄文時代の人々が、食物の豊作や子孫の繁栄、あるいは病気や怪我の治癒などを願うための信仰として用いた、女性をかたどった土製の像を何と呼びますか。（2023年 香川公立入試 類似）

1. 土偶 2. 埴輪 3. 銅鐸 4. 石包丁

問5 青森県にある三内丸山遺跡の調査によって明らかになった、縄文時代の人々の生活や社会の様子として最も適切な説明を選びなさい。（2023年 徳島公立入試 類似）

1. クリなどの植物を栽培したり、遠方の地域と黒曜石やヒスイを交易したりして、長期間の定住生活を送っていた。 2. 大陸から伝わった稲作を基盤とし、集落の周囲に深い堀を巡らせて外敵の侵入を防ぐ生活を送っていた。 3. 金属器を用いた農耕が普及し、王の権威を示すために巨大な前方後円墳を築造する社会を形成していた。 4. ナウマンゾウやヘラジカなどの大型動物を狩るため、特定の拠点を持たずに獲物を追って移動を繰り返していた。

問6 縄文時代の遺跡から発見される、人間を模した土製品（土偶）に関する記述として、当時の人々の暮らしや考え方を踏まえたものとして最も適切なものはどれですか。（2024年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 自然の恵みや生命の誕生を願う、当時の人々の切実な信仰心に基づき製作された 2. 亡くなった豪族の権威を示すため、巨大な墓の周辺に副葬品として配置された 3. 米作りの儀式において、神の依代として用いられた青銅製の道具である 4. 定住生活が始まったことで、集落の入り口に魔除けとして立てられた石像である

問7 青森県に位置する縄文時代最大級の集落跡についての記述です。この遺跡では、直径約1メートルもの栗の木の柱を用いた巨大な掘立柱建物跡や、当時の人々が居住した大型のたて穴住居跡が数多く発見されています。この遺跡の名称として正しいものを選びなさい。（2024年 福島県公立入試 類似）

1. 三内丸山遺跡 2. 吉野ヶ里遺跡 3. 登呂遺跡 4. 岩宿遺跡

問8 縄文時代に見られる「土偶」と、後の古墳時代に見られる「埴輪」を比較した説明として、正しいものはどれですか。（2019年 山形公立入試 類似）

1. 土偶は、豊かな収穫や安産などのまじないのために縄文時代に作られたが、埴輪は古墳の主の供養や魔除けとして古墳時代に作られた。 2. 土偶は、弥生時代に稲作が伝わった際に祭祀用として広まったが、埴輪は縄文時代に集落の守り神として置かれた。 3. 土偶は、古墳の内部に副葬品として納められたが、埴輪は住居跡から発見されることが多く、日常的な食器として使われた。 4. 土偶は、大陸から伝わった金属器の影響を受けて作られたが、埴輪は日本独自の土器文化から発展した石製品である。

中学歴史プリント（過去問類似）

縄文時代

名前

得点

/8

問1 約1万年以上続いた縄文時代の生活スタイルと、そこで使われた道具の関係について、正しい説明はどれですか。（2024年 熊本県公

立入試 類似）

1. 磨製石器や弓矢、土器などが使われ、自然環境に合わせた定住生活が行われた
2. 青銅器や鉄器が普及したことで、大規模な戦争や移動生活が繰り返された
3. 大型の石造建築が造られ、それらを装飾するために精巧な土器が発達した
4. 文字が発明されたことで、法律や契約に基づいた高度な都市生活が営まれた

問2 縄文時代に作られた、人間をかたどった特徴的な土製品である「土偶」について、この道具が作られた主な目的として最も適切なものを次の中から選びなさい。（2024年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 豊かな収穫や安産などを祈るための、信仰の道具として作られた
2. 古墳の周囲に並べ、死者の霊を慰めたり境界を示したりするために作られた
3. 大陸から伝わった稲作の技術を広めるための儀式的道具として作られた
4. 食料を保存したり、煮炊きを行ったりするための日常的な容器として作られた

問3 日本の北方に位置する地域に古くから居住する先住民族と、その文化に関する記述として最も適切なものを次の中から選びなさい。（2024年 山形公立入試 類似）

1. 北海道や千島列島などを主な居住範囲とし、シリエトク（知床）などの地名の由来にもなっている独自の言語を持つ。
2. 沖縄などの南西諸島を中心に独自の王国を築き、中国や東南アジアとの中継貿易によって繁栄した。
3. 古代に朝鮮半島や中国大陆から移住し、日本列島に稲作や青銅器・鉄器などの進んだ技術を伝えた。
4. 平安時代以前に東北地方に住み、朝廷の支配拡大に対して抵抗を続けたことで「蝦夷（えみし）」と呼ばれた。

問4 縄文時代に作られた土偶の中には、わざと体の一部を壊した状態で発見されるものがあります。このような特徴から推測される、土偶が作られた目的として最も適切なものはどれですか。（2023年 香川公立入試 類似）

1. 病気や怪我のある部分を壊すことで、その痛みを土偶に引き受けてもらおうとする身代わりの願い。
2. 土器を作る技術が未熟であったため、焼成の過程で自然に壊れてしまうことを前提とした観賞用。
3. 集落間の争いにおいて、倒した敵の姿を土偶に投影し、戦勝を記念して破壊する儀礼用。
4. 大陸から伝わった高度な彫刻技術を模倣しようとして、失敗したものを廃棄した残骸。

問5 青森県に位置する縄文時代最大級の集落跡についての記述です。この遺跡では、直径約1メートルもの栗の木の柱を用いた巨大な掘立柱建物跡や、当時の人々が居住した大型のたて穴住居跡が数多く発見されています。この遺跡の名称として正しいものを選びなさい。（2024年 福島県公立入試 類似）

1. 三内丸山遺跡
2. 吉野ヶ里遺跡
3. 登呂遺跡
4. 岩宿遺跡

問6 縄文時代における人々の生活環境の変化と、道具の使用に関する説明として最も適切なものはどれですか。（2016年 富山県公立入試 類似）

1. 大陸から稲作が伝来したことで、収穫した穀物を大量に貯蔵するための薄くて赤褐色の土器が広く普及した。
2. 気候が温暖になり動植物の食料が豊富になったことで定住が進み、食料の加工や保存のために土器が作られた。
3. 氷河期の影響で大型の獣を追う移動生活が中心となり、獲物を仕留めるために磨製石器が初めて登場した。
4. 有力な首長が各地に出現し、集落を守るための環濠や、身分を象徴する豪華な副葬品としての土器が作られた。

問7 縄文時代の人々の生活や文化について、食料の確保方法とその際に用いられた道具の組み合わせとして最も適切なものを次の中から選んでください。（2019年 佐賀公立入試 類似）

1. 狩りや採集で得た食料を煮炊きしたり保存したりするために、縄目などの文様がついた土器が用いられた。
2. 本格的な稲作が始まり、収穫した米を保存するための高床倉庫や、祭祀のための銅鐸が用いられた。
3. 大陸から伝わった青銅器や鉄器を使い、大規模な開墾を行うことで、余剰生産物を蓄えるようになった。
4. 牛馬を利用した耕作や二毛作が広まり、収穫した作物を都市の市場で売買する生活が一般的となった。

問8 縄文時代から弥生時代にかけての住居の構造について、地面を掘りくぼめる方法が取られた主な理由として、当時の生活環境から考えられる説明として最も適切なものはどれか。（2017年 茨城県公立入試 類似）

1. 床を地面より低くすることで、室内の温度を一定に保ちやすくするため
2. 床を地面から高く離すことで、収穫した穀物の湿気を防ぐため
3. 大規模な灌漑施設を作る際、土を掘り出す作業と同時に建築するため
4. 仏教の影響を受け、寺院の建築様式にならって地面に直接柱を立てないようにするため